2012 年 4 月 27 日
野村不動産ホールディングス株式会社
（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2012年３月期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：中井　加明三）は、本日、2012年３月期連結決算（2011年４月１日～2012年３月31日）を確定いたしましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「平成24年３月期　決算短信」を併せてご参照下さい。

＜ハイライト＞

■2012年３月期における連結業績は、売上高が4,508億円（前期比6.3％減）、営業利益が499億円（同18.7％増）、経常利益が341億円（同30.7％増）、当期純利益が175億円（同221.5％増）となりました。これは主に、住宅分譲事業において売上計上（引渡）戸数が減少した一方で、同事業における利益率が大幅に改善したこと、及びビル賃貸事業において前期に持分を追加取得した「東芝ビルディング」等の収益が通期に寄与したこと等に因るものです。また、当期純利益は、事業収益性が低下した一部の賃貸資産等の減損損失を特別損失に計上したものの、前期に不動産ローン担保証券（CMBS）に係る営業エクイティ投資評価損を特別損失に計上した影響に加え、法人税率の引下げに伴い繰延税金資産・負債を取崩したこと等により、大幅に増加しております。

■住宅事業セグメント・・・住宅分譲部門では、東日本大震災の影響を考慮し、建築スケジュールを見直した結果、マンションと一戸建てを併せた売上計上（引渡）戸数が4,028戸（前期比1,049戸減）と大きく減少しましたが、利益率が大幅に向上したこと等により、減収増益となりました。また、契約済未計上残高は3,969戸（前期末比1,731戸増）となりました。

■ビル事業セグメント・・・2010年9月に竣工した「日本橋室町野村ビル」（東京都中央区）、及び持分を追加取得した「東芝ビルディング」（東京都港区）の収益が通期で寄与した等ことにより、増収増益となりました。なお、期末時点の空室率は2.4％（前期末比△1.6ポイント）に改善しました。

■資産運用開発事業セグメント・・・収益不動産の売却額が前期実績を上回った一方で、2013年3月期以降に売却を予定している一部の収益不動産につき、たな卸資産評価損を計上したこと等により、増収減益となりました。

■2013年３月期の業績予想は、売上高5,230億円（前期比16.0％増）、営業利益550億円（同10.1％増）、経常利益400億円（同17.0％増）、当期純利益190億円（同8.0％増）と増収増益を見込んでおります。

■2013年３月期の年間配当金については、１株当たり30円に増配する予定です。

以　上

（添付資料）
平成24年３月期　決算短信
2012年３月期　決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（北井・平野）
TEL03－3348－8117 ・ FAX03－3343－0445